

2024年 秋期講演

# 武雄高校・鹿島高校 秋期講演会(11月10日) 英語(英検対策)

荒木 美希 編

※販売を目的とした複製、複写、転載、加工を禁止します。



**PROJECT THEATER SEMINAR**

東大・京大・国公立医学部・早慶の受験から高校の補習まで対応

# 2024年 武雄高校・鹿島高校 秋期講演

(2024年[令和6年]11月10日)

▽はじめに

2時間×2回という短い時間のため、書くための英語に焦点を当てました。英文読解の問題も入れてはいますが、読解のための英文法に留まらず、書くための英文法に繋がるような問題を選びました。

## 【試験は戦略が大事】

今回は英検2級対策ですが、これが英検準1級だとしても、英検に実際合格している人は、英語の実力がある人…というよりも、英検の対策がしっかりできている人です。

たとえ Reading が3, 4割しか取れていなくても、実際に準1級にも合格している生徒もいます。その生徒は、私の教室に来ている生徒なので、どうやって準1級を取ることができたかは分析できています。日頃から洋楽をたくさん聞くから英単語は聞き取れるため、Listening で点数を稼ぐことができます。また、Writing では自分が知っている範囲内の英単語（使っている単語が多少幼稚だったとしても）を使って、自分の意見をきちんと書くことができました。これで準1級を取ったのです。

試験では戦略が大事です。実力も大事ですが、実力は少し足りなくても結果を出す生徒もいれば、実力があがりながら結果につなげていない生徒もいるのです。何が得意で何が不得意かは個人差がありますので、自分にあった戦略を考えてほしいのです。この授業でも戦略の話をし少しするかもしれませんが、生徒により何が得意で何が不得意かが違うので、一般論として話をするのは難しいです。従って、相談したい生徒さんは、休み時間に直接相談に来てください。大歓迎です。

## 【英検を取るメリット】

英検2級でも大学入試の際に加点評価をしてもらえますが、英検準1級を持っていると、英語の試験を免除(英語の試験を受けなくても満点とみなす)する大学や、大きく加点してくれる大学が多数あり、大学受験において、選べる大学の選択肢の幅が広がります。さらに、入試直前には、英語以外の科目に集中することもできます。また、推薦入試の場合も英検が準1級ですと高く評価されます。

### 【英検（大学入試の英語の試験も）の変遷】

英検も、過去の問題形式から大幅リニューアルを重ねて、直前に過去問をちょっと解いたくらいでは、全く通用しないような作りになっています。過去問は「過去出た問題」であり「これから出る問題」ではありません！！！！！！

これは実話ですが、ある高校（一応進学校です）の生徒さんたちは英検対策として英検の過去問集をやっていました。努力しているのに全く結果が出ていませんでした。大学入試の英語にしても英検にしても、「どんな問題を出題するか」「受験する人のどの能力を見たいか」が変化しています。古い問題集ですと、これからの試験には出す可能性がほとんどない内容にたくさんのページ数を使っていることもあるのです。その生徒さんたちは使っている問題集が悪かったのです。勉強をいっぱいやれば、成績がよくなると思っている生徒さんが多いですが、『どれだけやるか（量の問題）』も大事ですが、『何をやるか（質の問題）』の方が結果に結びつきやすいのです。私が出会った生徒さんたちは非常に真面目であったのですが、『何をやるか』の判断をミスしたため、なかなか結果が出なかったのです。（もちろん、私が指摘した後で、英検に合格しました）。

### 【今回の講演会で目指したもの】

最新の英検に合格するために必要な勉強はあるなど感じて帰ってもらえるように。書くという分野においては、英検2級に留まらず、大学受験や、さらに上の準1級にも繋がるような話も出来るように授業で取り扱う問題の最終問題には自由英作文を入れました。現在の英語の能力は問いません。「思ったよりも英語が伸び悩んでいる人」「英語を得点源にしたい人」「やる気のある人」は大歓迎です。

今回の講演がみなさんの日々の学習の一助となるように、サポートしたいと思っています。

2024年[令和6年]秋 プロジェクトシアター講師 荒木美希

## ▽英語が苦手な人用

「自動詞/他動詞とは何ですか？」と聞かれて、言葉の定義すら答えられない状況にあると、私の授業に参加しても、せっかく受けた私の授業が全く役に立たなくなってしまう可能性があります。

動詞は「英語の命」です。自動詞/他動詞の区別がついているだけで、受動態、関係代名詞、分詞、使役動詞、五文型など別の英文法の分野の理解も進みます。

英語が苦手な人や点数が伸び悩んでいる人にありがちなのは、どうしても答えの選択肢を選ぶ際にも「このフレーズは、聞いたことあるから」とか「何となく」答えを選んでしまいがちです。しかし、これだと問題作成者の思うツボです。理想は「問題を作った人は、この選択肢にひっかけたかったかもしれないけど、ひっかからないもんねー」です。

ひとりでも学習しやすいように、答えと簡単な解答を乗せました。解答を見ても理解できない場合は、学校の先生に質問をして、授業の当日には、以下の問題だけは、スラスラ解けるようにしておいてください。

### <基礎問題>

これは授業ではやりませんが、少しコメントすることはあります。

【1】以下の文章を読み、5文型 (注) のVになる動詞を抜き出してください。

- (1) There is a lot to see in Rome.
- (2) I have no time to worry such a little thing.
- (3) Girls who do not use make-up have better complexions.
- (4) The bald guy seated in the corner in a black suit talking on his cell phone is an investment banker working for Goldman Sachs.
- (5) That we get a culture shock when we go from one country to another, is a fact.
- (6) Nancy's grumbling annoyed her husband.
- (7) In his haste to get off, he left his umbrella in the train.
- (8) To look at her, you would never guess her age.
- (9) Out of ten candidates you may choose only one.
- (10) Nine out of every ten planets on earth are grasses.

(注) 5文型とは  
    (第1文型) S V  
    (第2文型) S V C  
    (第3文型) S V O  
    (第4文型) S V O O  
    (第5文型) S V O C

<解答>

- (1) is
- (2) have
- (3) have
- (4) is
- (5) is
- (6) annoyed
- (7) left
- (8) guess
- (9) choose
- (10) are

**【2】** 以下の文章の文型を書いてください。

- (1) Their singing nearly drove me crazy.
- (2) We heard the explosion and saw the house burst into flames.
- (3) The policeman let him go after warning him not to drive recklessly.
- (4) Will you help me (to) translate this poem?
- (5) I finally got her to speak Japanese fairly well.
- (6) We had our daughter run away.
- (7) This book taught me why he was such a great player.
- (8) The press remained silent.
- (9) She kept coughing all the time.
- (10) She bought him a glass of water and gave it to him.

<解答>

- (1) SVOC (注)Oは me, Cは crazy
- (2) SVO と SVOC  
(注)等位接続詞(and)の後の, Oは the house, Cは burst into flames
- (3) SVOC (注)Oは him, Cは go after
- (4) SVOC (注)Oは me, Cは(to) translate this poem
- (5) SVOC (注)Oは her, Cは to speak Japanese fairly well
- (6) SVOC (注)Oは our daughter, Cは run away
- (7) SVOO (注)1つ目のO(間接目的語)は me,  
2つ目のO(直接目的語)は why he was such a great player
- (8) SVC
- (9) SVC
- (10) SVOO と SVO (注)等位接続詞(and)の前の, 1つ目のO(間接目的語)は him,  
2つ目のO(直接目的語)は a glass of water

## ▽やる気がある人用

やる気がある人は予習を薦めます。また、予習答案を書いて提出すれば、添削して返却します。やる気があればよいので、全くできなくて白紙になった答案でも、途中で挫折した答案でも、提出してかまいません。予習に関しては、以下を参考にしてください。

(予習について)

予習とは「答えを揃えてくること」を指すわけではありません。ましていわんやインターネットで答えを探してやることではありません。それに予習ですらすら解けるのであれば、教師は不要です。今の自分の実力で「どこまでが解けて、どこからが解けないのか」を授業の前に事前に確認しておくことが重要です。「何がわかっている、何がわかっていないのか」を自分なりにノートに記録して整理しておく、授業を受ける前に自分の中では「わかっている」と判断したことの中には実は「勘違い」や「わかっていた」が含まれることがよくあります。でも、そこに気づくことが今後の大きな進歩につながります。

授業で先生の解説を聞いて「なるほど！ふむふむ」「そうだ」と頷けることと、自分の手を動かして一から解答を作り上げることには大きなギャップがあります。

復習をしたはずなのに時間が経ったらまた同じ間違いをしてしまう人の中には、「復習をしたはずなのに…」となってしまう生徒がいます。でもそういった生徒にはどの様に復習をしたのかをたずねてみると、復習を「黒板を写したノートを眺めること」だったり「先生が書いた解答を書道のようになぞること」だと勘違いしてしまっている人がいます。ノートを眺めるだけで、予習の段階から自分の手を動かして、失敗してでも一から自分の答案用紙を作った経験がないと、テストの本番でいきなり自分の手を動かして、答案を作っても、うまくいかず、こんなはずじゃなかったのに！という結果に繋がってしまいます。先生が書いた解答をただなぞるだけだと、先生が授業中に話していた「この解答に辿り着くための重要な考え」が抜け落ちてしまい、問題の解答だけを丸暗記してしまうことになってしまい、単語まで同じ問題が出題されれば、記憶を辿れば、解くことができるけど、記憶したものと少しでも違う問題が出てしまうと、そこでアウトになってしまいます。

予習の段階で辞書はもちろん使って構いません。それでも何を書いたらいいのかもわからなかった場合は、さっさと諦めてください。「何を書いたらいいのかもわからなかった」という事実を確認してやるのが予習です。

予習の段階で「日本語では、こう書きたかったけど、それを英語でどう書くのかがわからなくて、書けなかった」という場合は、日本語での解答の提出も可とします

提出方法は、この講演の担当である足立先生（武雄高校）、梶原先生（鹿島高校）に直接渡してください。提出期限は11月5日とします。11月5日の時点で担当の先生に渡されたものを有効とします。早く提出されたら、それだけ丁寧な添削を受けることができます。締切日の11月5日にこだわらず、すぐに担当の先生に提出することをお勧めします。

**【講演用問題】** ここからの4題を授業でやります。

【1】以下の英文を読み、下の問いに答えてください。

Many things happen to me which I do not notice; these I can hardly be said to experience. Clearly I experience whatever I remember, but some things which I do not explicitly remember may have set up habits which still persist. The ( 1 ) child fears the fire, even if he has no recollection of the occasion on which he was ( 2 ). I think we may say that an event is 'experienced' when it sets up a habit. (Memory is one kind of habit.)

問1 ( 1 )( 2 )に入れるべき語を下から選んでください。

ア. experienced    イ. recollected    ウ. burnt    エ. coward

問2 全文を日本語に直してください。

**語句** notice 気づく    explicitly はきりと    set up habits 習慣を形成する  
persist 存続する    recollection 記憶

## 【2】

“Waiting For Love” by Avicii

(1) Where there's a will, there's a way, kinda beautiful  
And every night has its day, so magical  
And if there's love in this life, there's no obstacle  
That can't be defeated

For every tyrant a tear for the vulnerable  
In every lost soul the bones of a miracle  
For every dreamer a dream we're unstoppable  
With something to believe in

(2) Monday left me broken  
(3) Tuesday I was through with hopin'  
Wednesday my empty arms were open  
Thursday waiting for love, waiting for love

Thank the stars it's Friday  
I'm burning like a fire gone wild on Saturday  
Guess I won't be coming to church on Sunday  
I'll be waiting for love  
Waiting for love to come (4) around

- (1) 下線部 (1) を日本語に訳してください。
- (2) 下線部 (2) を日本語に訳してください。
- (3) 下線部 (3) を日本語に訳してください。
- (4) 下線部 (4) と、ほぼ同じ意味を表す前置詞を一語書いてください。



【3】以下の a～e の順番を並べ替えて、一つのまとまった文章にしてください。

Brazil is often considered the strongest country for soccer. → (        ) → (        ) → (        ) →  
(        ) → (        )

- a. In 1996, for example, Brazil failed to get past the first round.
- b. That's more than any other country.
- c. Its national team has won the World Cup five times.
- d. It hasn't, however, done well in every World Cup.
- e. Brazil is also the only national team to have played in every World Cup.

【4】 次の英文を読んで、【解答上の指示】に従って英語であなたの考えを述べてください。

One of the most common ways to acquire new information is reading. Some people like to read paper materials such as books, magazines and newspapers. Other people prefer to read the same content on the screens of their computers, tablets or smartphones. How do you prefer to read, on paper or on a screen?

【解答上の指示】

下線部①～⑧を埋めて、下の5つのパラグラフからなる英文を完成させなさい。まず、第1パラグラフにおいて、上の下線部の問いに対するあなたの意見を明らかにしなさい。次に、第2、第3、第4パラグラフにおいて、あなたがそのように答える理由を具体的な例を使って説明しなさい。最後の第5パラグラフは英文全体のまとめとなります。

People can read on paper or on a screen. Personally, I prefer reading \_\_\_\_\_ ① \_\_\_\_\_ to reading \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_, for several reasons.

One reason why I prefer reading \_\_\_\_\_ ① \_\_\_\_\_ to reading \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ is that \_\_\_\_\_ ③ \_\_\_\_\_. For example, \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_.

Another reason why I prefer reading \_\_\_\_\_ ① \_\_\_\_\_ to reading \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ is that \_\_\_\_\_ ⑤ \_\_\_\_\_. For example, \_\_\_\_\_ ⑥ \_\_\_\_\_.

A final reason why I prefer reading \_\_\_\_\_ ① \_\_\_\_\_ to reading \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ is that \_\_\_\_\_ ⑦ \_\_\_\_\_. For example, \_\_\_\_\_ ⑧ \_\_\_\_\_.

I realize that my opinions about reading are personal and that other people may have other reasons for their own preference. However, if people carefully consider the advantages and drawbacks of reading on paper and reading on screens ( and even other options ), everyone who reads to learn things will be able to choose the way that is best for them.

【予習提出用フォーマット】

学年		名前	
第一志望校（必須ではありません）		大学	学部

現在の英検のレベルで、該当するものに丸をしてください。

英検準2級	合格
英検2級	一次のみ合格
英検2級	合格
英検準1級	一次のみ合格
英検準1級	合格
英検1級	合格

【1】

問1	1		2	
問2				

**【2】**

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

**【3】**

→	( )	→	( )	→	( )	→	( )	→	( )
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

**【4】**

①	
②	

③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	